

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	清泉女学院大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	長野
大学全体の総収容定員	684名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	人間学部（心理コミュニケーション学科、文化学科） 看護学部（看護学科）		
事業計画名	清泉女学院大学農学部設置計画		

**2. 事業概要**

長野県は総農家数が全国1位であるが、基幹的農業従事者数に対する65歳以上の割合は全国平均より4ポイントほど高く、耕作放棄地率も約2倍となっており、新規就農者の安定的確保は喫緊の課題となっている。こうした地域の課題と、世界的な人口増や環境問題、地政学的な不安定さなど、食と農を取り巻く諸問題を解決するには“**Think globally, Act locally**”の**思考**が不可欠となる。本学が構想する農学部アグリデザイン学科（仮称）では、こうした思考を専門基礎科目郡で身に付け、さらに**長野県の自然環境や地域的特徴を活かし、農学を基盤とした複合分野の学びによって地域活性に資する人材を養成する「地域創成コース」**（仮称）と、**全国的にトップレベルの産品であるワイン、日本酒、味噌など、発酵・醸造を切り口に、これらの産業をさらに発展させる人材を養成する「農芸化学コース」**（同）を設ける。自治体や地元企業で構成する「清泉大学新学部設置協議会」（同）を組織し、同協議会参加企業等との連携によりPBL型授業やインターンシップなどにより、社会実装を意識した学びを展開し、VUCA時代に対応する人材を育成する。

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	農学部アグリデザイン学科（仮称）					
設置等組織の学位分野	農学関係	経済学関係	社会学・社会福祉学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	長野県千曲市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	80名					
他学部等の入学定員の減少数	60名					



事業計画名	清泉女学院大学農学部設置計画				
-------	----------------	--	--	--	--

基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	農学部アグリデザイン学科（仮称）	入学定員増数（合計数）	80名
所在地	長野県千曲市	改組内容	学部の新設	入学定員減数（合計数）	60名

**<社会や地域のニーズ・課題>**

- ・「食料安全保障」と「農業や食料システムの環境」への対応
- ・「農業の生産性向上」、「農村・地域コミュニティ・農村インフラの維持・活性化」
- ・全体人口と就農人口の減少、高齢化等に対し地域の強みを活かした地域振興・活性化の実現

**<連携を通じた教育体制の整備>**

- ・地域の産業界、自治体と連携し、PBL型授業やインターンシップ、実習の実施
- ・食と農に関連する地域企業の経営者、技術者、実務者による授業協力
- ・県内外高等教育機関（信州大学農学部など）と連携、授業協力や研修など

**<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>**

- ・地球規模からの観点・思考と地域に根ざした課題解決
- ・地域の食と農に関連する企業等や自治体と密接な連携
- ・社会実装を強く意識



**<多様な入学者の確保>**

- ・女子大（令和7年度からは共学化）であることから、これまでの女子学生確保の実績を最大限に活かす
- ・地域を中心に地元自治体の協力のもと、高校、中学、小学校へ出前授業を展開、早い段階から食と農への関心を喚起し、志望につなげる
- ・長野県ならではの地域特性を活かし、県外から、大都市圏からの入学者も確保

**長野県・食と農に関するSWOT分析**

	強み	弱み
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屈指の自然環境豊かな環境</li> <li>・園芸作物産出額全国トップ</li> <li>・果実産出額全国2位</li> <li>・ワイン生産量全国2位</li> <li>・日本酒酒蔵数全国2位</li> <li>・味噌生産量全国トップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業継承者の大幅減少</li> <li>・農業従事者の高齢化</li> <li>・耕作放棄地率が高い</li> <li>・生産効率高い農地整備課題</li> <li>・新規就農者確保に課題</li> <li>・地球環境配慮は途上</li> </ul>
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住先全国トップクラス</li> <li>・旅行先としても人気県</li> <li>・豊富な観光資源</li> <li>・新幹線、高速道路が充実</li> <li>・大都市圏から好アクセス</li> <li>・健康長寿県</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界人口の増加</li> <li>・低レベルの国内自給率</li> <li>・食料安全保障の懸念</li> <li>・世界的な異常気象</li> <li>・国外の紛争</li> <li>・感染症の懸念</li> </ul>

**<教育内容・育成する人材像>**

- ・自治体や産業界と連携、PBL型授業やインターンシップを重視、社会実装を重視した教育
- ・Think globally, Act locallyでこれからの食と農のあり方を探求できる教育

**●養成する人材像**

- ・環境に配慮し、持続可能な食料供給システム構築を目指す人材
- ・地域の特徴を最大に活用し、農学をベースに地域振興に寄与できる人材
- ・醸造、発酵を学び長野県が誇る産品（ワイン、日本酒、味噌等）のマーケット拡大に資する人材

**養成する人材像**

- ・環境に配慮し、持続可能な食料供給システム構築を目指す人材
- ・地域の特徴を最大に活用し、農学をベースに地域振興に寄与できる人材
- ・醸造、発酵を学び長野県が誇る産品のマーケット拡大に資する人材